

第1回戦術委員会確認事項

2013年12月16日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日15時30分より開催した第1回戦術委員会において、2014年闘争の進め方を以下のとおり確認した。

1. 金属労協は、12月9日に開催した第56回協議委員会において、「2014年闘争の推進」を確認した。各産別・単組は、この方針に基づき要求の策定作業を進めていく。
2. 2014年闘争は、デフレ脱却に加え、「人への投資」によって産業の競争力を強化し、持続的な成長と勤労者生活の安定・向上を実現していく時代への転換点を迎える中での重要な取り組みとなる。
金属労協は、デフレ脱却と経済成長を確実なものとするため、賃金・労働条件の向上と企業発展の好循環を実現していく。このため、5産別が強固なスクラムを組み、JC共闘全体で「人への投資」として1%以上の賃上げに取り組む。労働組合として責任ある要求を掲げ、労使の主体的な交渉を通じて賃金および総合労働条件の決定を行っていく。
3. 2014年闘争の下記の主要日程を設定し、金属労協の総力を結集して闘争を推進する。
 - 1月28日(火)に「2014年闘争推進集会」を開催し、JC共闘強化に向け、各産別の闘争方針および経営側に対する金属労協の主張点について理解促進を図る。
 - 1月29日(水)に全国の最低賃金担当者を対象とした最低賃金連絡会議を開催し、2014年度の取り組み方針について、共有化を図る。
 - 集計登録組合を中心に2月18日(火)までに要求を提出し、直ちに交渉を開始する。
 - 連合方針を踏まえ、JC共闘の集中回答日は3月12日(水)とする。加えて、各産別の主体的な取り組みのもとで共闘を展開し、3月の月内決着をめざし、早期決着を図る。
 - 集計登録組合に続いて回答を引き出す組合を支援するため、「中堅・中小登録組合」を設定し、要求・回答状況を公表する。
4. 第2回戦術委員会は、1月24日(金)午前10時より開催する。

以上

2014年闘争の日程配置

- 2013年 12月 16日 (月) 15:30 第1回戦術委員会・第17回三役会議
18日 (水) 15:30 第1回中央闘争委員会・第17回常任幹事会
- 2014年 1月 16日 (木) 9:30 第17回書記長会議
24日 (金) 10:00 第2回戦術委員会・第18回三役会議
15:30 第2回中央闘争委員会・第18回常任幹事会
28日 (火) 13:30 2014年闘争推進集会
29日 (水) 13:00 2014年度最低賃金連絡会議
- 2月 13日 (木) 15:30 第18回書記長会議
19日 (水) 10:00 第3回戦術委員会・第19回三役会議
14:00 (連合第5回金属部門連絡会／金属部門共闘書記長・事務局長会議)
15:30 第3回中央闘争委員会・第19回常任幹事会
集計登録組合を中心に、2月18日までに要求提出
- 3月 12日 (水) 集中回答日
11:00 戦術委員会
12:00 記者会見
15:30 第4回中央闘争委員会・第20回常任幹事会
25日 (火) 16:00 中堅・中小労組登録組合記者会見
26日 (水) 15:30 第19回書記長会議

以 上